

(1) 積が大きくなる順にならべましょう。

㉞  $\frac{7}{9} \times 1$

㉟  $\frac{7}{9} \times \frac{2}{3}$

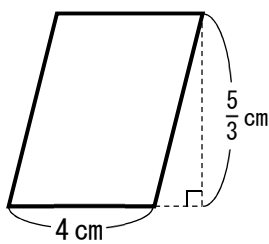
㊱  $\frac{7}{9} \times \frac{4}{3}$

㊲  $\frac{7}{9} \times \frac{2}{10}$

答え \_\_\_\_\_

(2) 次の図形の面積や体積求めましょう。

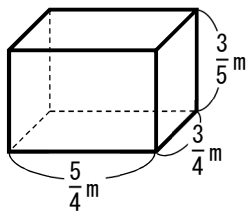
① 平行四辺形



(式)

答え \_\_\_\_\_

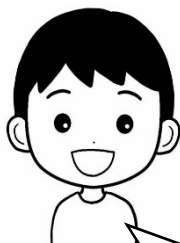
② 直方体



(式)

答え \_\_\_\_\_

(3) 隼人さんは、分数に分数をかける計算の積が、「分母どうし、分子どうしをかければ求められる」ことを説明しています。あてはまる数や言葉を入れましょう。【思・判・表】



かける数を□倍すると  
積も□倍になるから後で  
□で割ると考えると…

$$\begin{aligned} \frac{6}{5} \times \frac{2}{7} &= \frac{6}{5} \times \left( \frac{2}{7} \times 7 \right) \div \square \\ &= \frac{6}{5} \times 2 \div \square \\ &= \frac{6 \times 2}{5 \times 7} \\ &= \square \end{aligned}$$

## 小6 算数「分数のかけ算」1 解答・解説

(1) 積が大きくなる順にならべましょう。

$$\text{ア} \quad \frac{7}{9} \times 1$$

$$\text{イ} \quad \frac{7}{9} \times \frac{2}{3}$$

$$\text{ウ} \quad \frac{7}{9} \times \frac{4}{3}$$

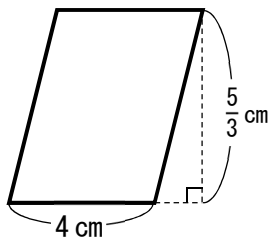
$$\text{エ} \quad \frac{7}{9} \times \frac{2}{10}$$

答え ウ・ア・イ・エ

【解説】 かけられる数が同じとき、積の大きさはかける数で決まります。  
かける数が多いほど、積は大きくなります。

(2) 次の図形の面積や体積求めましょう。

① 平行四辺形



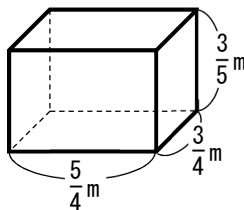
$$\text{(式)} \quad 4 \times \frac{5}{3} = \frac{20}{3}$$

【解説】 辺の長さが分数で表されていても、整数や小数と同じように公式を使って求められます。

$$\frac{20}{3} \text{ cm}^2$$

答え \_\_\_\_\_

② 直方体



$$\text{(式)} \quad \frac{5}{4} \times \frac{3}{4} \times \frac{3}{5} = \frac{5 \times 3 \times 3}{4 \times 4 \times 5} = \frac{9}{16}$$

$$\frac{9}{16} \text{ m}^2$$

答え \_\_\_\_\_

(3) 隼人さんは、分数に分数をかける計算の積が、「分母どうし、分子どうしをかければ求められる」ことを説明しています。あてはまる数や言葉を入れましょう。



かける数を 7 倍すると積も 7 倍になるから後で 7 で割ると考えると…

$$\frac{6}{5} \times \frac{2}{7} = \frac{6}{5} \times \left( \frac{2}{7} \times 7 \right) \div \boxed{7}$$

$$= \frac{6}{5} \times 2 \div \boxed{7}$$

$$= \frac{6 \times 2}{5 \times 7}$$

$$= \frac{\boxed{12}}{\boxed{35}}$$

【解説】 かけ算の性質を使って考えると7をかけることで分数を整数に直すことができます。